

<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【ICTを活用した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協働学習の中で効果的なICTの活用を工夫する。 	A
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全教職員で学び合い、伝え合う協働学習についての研究授業を行い、授業研究会を年3回実施する。 ・ 実践については、研究推進委員会を年5回以上、人権教育委員会を年10回以上、学力向上委員会を年3回行い、検討・改善を行う。 	
<p>結果と分析・次年度に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定通り実施した。 ・ 協働学習の中でタブレットを活用し、子どもたち同士で機能をうまく使い、活発に意見も交換できた。 ・ 研究授業以外の毎日の授業の中でも、協働学習の機会を増やしていき、より自分の意見を持ち、意見を全体の話し合いで伝えることができる児童を増やしていく必要がある。 	

<p>取組内容②【言語力や論理的思考力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝え合う力を育成するために学校行事の中で自分の考えを持ち意見を伝えることができる。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校行事において自分のめあてをもち、自分の考えや意見をみんなに伝えることができたか、ふりかえりシートでふりかえり、中間 70%以上、最終 80%以上にする。 ・ 平成 28 年度本校アンケート調査で「みんなは、あなたの意見をきちんと聞いてくれましたか。」と回答した児童の割合を 75%以上にする。 	
<p>結果と分析・次年度に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校行事においてのふりかえりシートでふりかえることができなかった。ふりかえりシートについては全体で共通理解を図る必要がある。 ・ 「みんなはあなたの意見をきちんと聞いてくれましたか」では 91%で達成できている。継続していく必要がある。 	B
<p>取組内容③【個に応じた学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別指導や繰り返し指導の充実を図る。 ・ 図形、量や測定について、実体験できる学習に取り組む。 ・ 基礎的、基本的な内容の確実な定着を図る場をつくる。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国、算のプリント学習を隔週で実施し、子ども自身で解くようにする。 ・ 算数道場を 5～2 月まで月 1 日実施する。異学年での学び合いの時間を学期に 1 回以上実施する。 ・ パズルやブロック、つみき等の教材教具を使った補充学習の時間を月 1 回実施する。 	
<p>結果と分析・次年度に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プリント学習は、子ども自身で解くようになってきた。 算数道場は月 1 回実施してきた。異学年の学び合いの時間も学期に 1 回以上実施した。 ・ パズル・つみき学習は月 1 回実施してきた。算数で成果が感じられる。 	A